

**本社移転に伴い、
電話番号が変わります。**

2014年5月7日(水)

9:00~

03-6262-3923

**5月2日(金)17:00までは
03-3222-1220(現行)**

**3、4、5、6日は
休業日となります**

【移転先】

〒104-0031

東京都中央区京橋三丁目3番4号

京橋日英ビル 3階

【本社移転・電話番号変更に関するお問い合わせは】

クローバー・アセットマネジメント株式会社

gyoumu@clover-am.co.jp

3%の先の未来

2014年4月9日

クローバー・アセットマネジメント株式会社

代表取締役社長 多根幹雄

4月になって消費税が上がりました。買い物をする度に「あれ？思ったより高いな」と思って良くみると、消費税分が結構大きいことに気づきます。たかが3%、されど3%なのです。問題は、消費税そのものではなく、この機に乗じてまたぞろ多くの無駄使いが復活していることです。日本の問題として、国が多くの借金をしている点が指摘され、その為にも消費税を上げるべきだとの声が国内外から多く寄せられています。しかし、そもそも多額の借金を生んだ根源である「タカリ精神」や「依存精神」こそが日本の最大の問題だと私は思っています。

例えばスイスで、もし風邪をひいて医者に行くと、まず全額自己負担になります。金額でいうと2万円弱でしょうか。ただ、医療費の自己負担が大きいため、風邪をひかないように、あるいはむし歯にならないよう努力することで、結局病気にならず、結果として全体の医療費も少なくなります。一方で、個人の累積の医療費がある金額を超えると、今度は一転して保険で9割を負担してもらえます。つまり、困らない程度の病気は自分でなんとか対応し、どうしても困った時のみ保険を利用するという仕組みになっています。

このほか、スイスではかなり優先順位の高い公共投資でも、費用の負担や環境保全など後々のことも考えて簡単に決めません。優柔不断というよりは、皆さんが自分の利益よりも皆や将来の人に対して責任を持っているのです。日本ではすぐ自分の都合で政治家に陳情し、予算を引っ張って来て公共投資をするために、不必要な施設や道路がどんどん造られてしまいます。このように、国民が国を頼り、政治家や官僚がその気持ちを利用してきた象徴が、現在の1000兆円を超える国の借金ではないでしょうか。

ただ、それもそろそろ限界なのは誰の目にも明らかです。何でもかんでも国の責任にし、国に頼ることは改めなければなりません。かつて福沢諭吉は『一身独立して、一国独立す。』と説きました。当時と日本を取り巻く環境は大きく変わりましたが、今こそこの精神が必要な時でしょう。お金の面でも国の年金が頼れない時代に近い将来なるのは明らかです。これを解決するには国に頼らず、自分が自分の将来のために、『自分年金』づくりを今日からでも始めなければいけない時だと切実に思っています。

ファンド概況

基準価額	13,175円	純資産総額	494百万円
設定日	2008年4月22日		
信託期間	無期限		
決算日	毎年2月25日		

期間別騰落率(%)

1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
-0.48	-1.70	8.47	22.79	44.61	31.75

分配金(円)

直近3期を表示			
4期 ('12/2/27)	5期 ('13/2/25)	6期 ('14/2/25)	累計
0	0	0	0

基準価額と純資産総額の推移



運用コメント

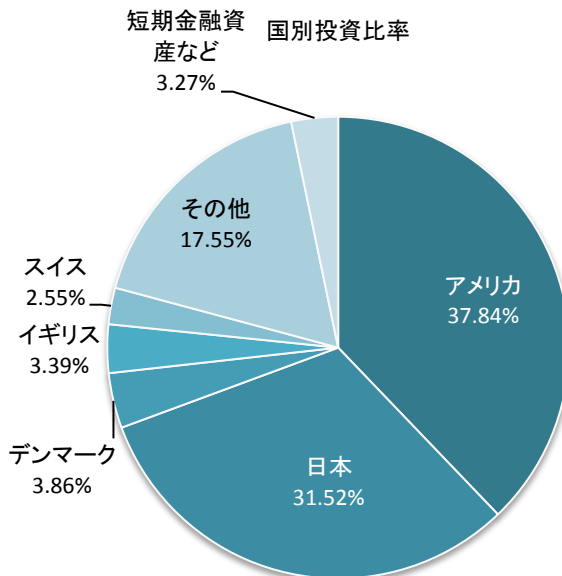
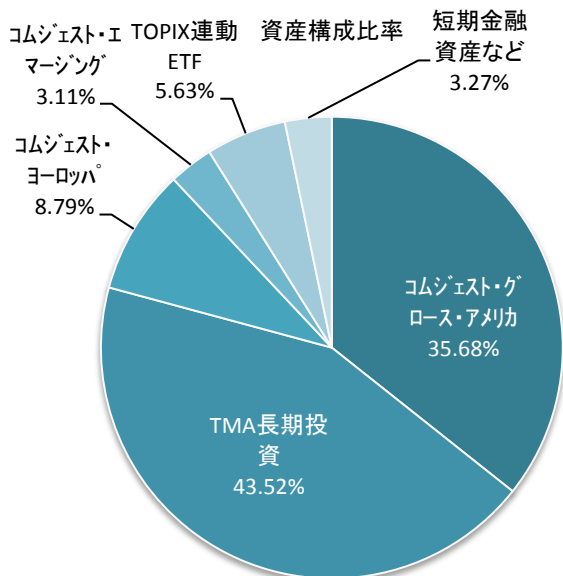
3月前半は、想定外の地政学的リスクに市場も混乱しました。3月1日、ロシア議会でクリミア半島への軍事介入(軍の派遣)を決定、ロシアによるクリミア・セヴァストポリの編入にまで至っています。もちろん、西側諸国はこれを認めず、米国を中心にロシアへの経済制裁を発動、再び冷戦時代へと逆戻りしてしまいそうな動きが続いています。しかし実際には、東西の経済的交流が冷戦時代とは比べ物にならないほど深く結びついている今、かつてのように分断された世界にはならないと推定しています。

その一方、FRB(米連邦準備制度理事会)による量的緩和縮小が進行する中、イエレン議長発言(失言?)「来春の金利引き上げ」も市場を大きく揺さぶりました。しかし、これも結局、3月末の「労働市場は、依然として脆弱」との金融緩和縮小に慎重な本来のハト派的発言で帳消しになった感があります。結局、NYダウは、1.79%のプラス、中盤で大きく下げた日本市場でも日経平均(-0.09%)、TOPIX(-0.72%)ともわずかなマイナスに落ち着きました。

こうした中、かいたくファンドは、コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド、TOPIX連動型投信が貢献してくれました。月末時点では-0.48%のマイナスとなりました。

今後は、今までの金融緩和による株式市場全体の上昇から、より選別がはっきり進んでくると考えています。新たなアクティブファンドの導入も検討してゆく予定です。

ポートフォリオの状況



かいたくファンド純資産総額に対する上位組入れ銘柄・比率

(組入銘柄数: 141銘柄)

順位	銘柄名	事業内容	組入比率	組入れファンド名
1	キーエンス	ファクトリーオートメーション用センサの製造	1.87%	TMA長期投資
2	Johnson & Johnson	製薬ヘルスケア部門で世界第2位	1.78%	コムジエスト・グロース・アメリカ
3	Comcast Corporation Class A	アメリカ合衆国最大のケーブルテレビ局	1.75%	コムジエスト・グロース・アメリカ
4	SMC	空圧機器などを製造・販売(日本)	1.61%	TMA長期投資
5	リンナイ	給湯、厨房、空調等の各機器を製造	1.61%	TMA長期投資
6	Microsoft Corporation	世界最大のコンピューター・ソフトウェア会社	1.57%	コムジエスト・グロース・アメリカ
7	NOVO NORDISK A/S-B	デンマークに本社を置く糖尿病ケアの世界的リーディングカンパニー	1.57%	TMA長期投資
8	Medtronic, Inc.	AEDなどの医療機器メーカー	1.53%	コムジエスト・グロース・アメリカ
9	シマノ	バイシクル、釣具、ボート等を製造	1.52%	TMA長期投資
10	エア・ウォーター	総合ガス企業	1.48%	TMA長期投資

ファンドの特色

①「世界投資」

当ファンドは、運用資産を長期的に大きく成長させるため、日本だけでなく成長を続ける世界へ投資を行います。世界へ投資することで、世界経済のダイナミックな成長の恩恵を得ることが可能となります。

②「分散投資」

当ファンドは、為替変動や政変・戦争など世界の株式市場に投資した場合のさまざまなリスクを抑えるために複数のファンドに投資を行うファンド・オブ・ファンズの投資手法を利用することで、国、地域、銘柄、産業などを分散し、時間(投資するタイミング)も分散します。

③「長期投資」

当ファンドは、短期的な運用成績の追及は目標とせず、長期的な運用リターンを最大化することを追求します。具体的には長期的な価値以上に割安となった国、地域、銘柄、産業などを投資対象とするファンドへの投資を行い長い時間軸で運用リターンを最大化する「バイ&ホールド」を基本的な戦略をします。但し、株価が割高であると判断した時や時価のボラティリティ(変動)が大きくなると判断した時は、長期的な運用リターンを最大化するために現金比率を最大限高めて基準価額のボラティリティを抑えます。

④「世界中から厳選したファンド」

当ファンドは、基準価額の変動を抑え長期間にわたり安定的な成長を行うファンドや、長期間にわたりインデックスを上回るようなファンド、長期的に有望な国、地域、産業などを投資対象とするファンドを厳格な基準に基づいて選別して投資対象のファンドとします。

⑤「アセットアロケーション」

当ファンドは、世界の景気サイクルに沿って、投資する国、地域、産業などを大きく切り替えていくことで、資産配分の調整を行います。また、キャッシュも重要なアセットアロケーションのクラスと考えており、マーケット環境によっては積極的にキャッシュ比率を最大限引き上げる場合もあります。

ファンドにかかわるリスク

当ファンドは、値動きのある国内外の株式等に投資する投資信託証券に投資しますので、基準価額はその影響を受け変動します。

投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者(投資者)の皆様に帰属します。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。リスクについての詳細は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

<お申込みの際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください>

ファンドにかかわる費用

購入・換金手数料	ありません
信託財産留保額	ありません
運用管理費用 (信託報酬)	年率0.7350%(税抜き0.7000%) 組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.6±0.2%(概算)
その他費用・ 手数料	監査費用、租税、信託事務の処理および販売にかかわる資料等に要する諸費用を純資産総額の年率0.105%(税抜き0.10%)を上限として投資信託財産から支払うことができます。 *これらの費用は運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

業務管理部からのお知らせ

【ご登録内容の変更はございませんか？】

すっかり春らしい陽気となりました。新年度も始まり、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

ご転居等によりご住所、ご連絡先に変更はございませんか。

お取引に関する重要な書類や大切なお知らせなどがお届けできなくなりますので、ご変更がございましたら、下記の手順にて必ず変更手続きをお願い致します。

①「登録事項変更届」の用紙を弊社ホームページまたはお電話にてご請求ください。

②「登録事項変更届」にご記入のうえ、ご返送ください。

※弊社ご登録印であることをご確認ください。

※新住所が記載された「ご本人様確認書類」(運転免許証の写し・住民票等)をご同封ください。

③後日、弊社より「登録内容変更の控え」を発送いたしますので、内容をご確認ください。

なお、**メールアドレスのご変更は、弊社ホームページまたはお電話でもお手続きを承ります。**

＜ホームページの場合＞

「各種お手続き」→「メールアドレス・レポート受取方法変更」フォームよりご連絡ください。

＜お電話の場合＞

「メールアドレスが変更となった」旨をお申し出ください。

【「お取引残高報告書 兼 残高照合通知書」の発送について】

「お取引残高報告書 兼 残高照合通知書」を発送いたしました。

今回は、2014年1月～3月末までに、受渡日が到来したお取引をされたお客様と最後のお取引から1年が経過したお客様が発送の対象となっております。

対象となるお客様のうち、残高がある方には、3月末時点の基準価額での時価評価が記載されておりますのでご確認ください。

【毎月つみたてスケジュール】

引落開始月	新規申込・引落口座 変更締切日	引落金額変更・ 中止締切日	引落日	約定日
平成26年5月	受付終了	4月21日(月)	5月7日(水)	5月19日(月)
平成26年6月	4月30日(水)	5月23日(金)	6月5日(木)	6月17日(火)

※毎月つみたてサービスの金額変更・中止については、お電話でも承っております。その際、ご本人様確認(氏名、住所、現在の契約内容等)をいたしますので、予めご準備をお願いいたします。

クローバー・アセットマネジメント株式会社 業務管理部 (受付時間: 平日9時～17時)

TEL: 03-3222-1220 / E-mail: gyoumu@clover-am.co.jp

当資料のご利用にあたっての注意事項

■当資料はクローバー・アセットマネジメント株式会社が運用するファンドの運用状況をお知らせするために作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)等をお渡ししますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります)に投資いたしますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の皆様は投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。■運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。■当資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。■当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。■当資料中に示された意見等は、作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。■投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。